

令和5年第3回

大河原町議会定例会（9月会議）

総 括 質 疑

大河原町議会

令和 5 年 第 3 回 大河原町 議会 定例会 (9 月 会 議)

総 括 質 疑

No.	質 問 者	質 疑 事 項 及 び 要 旨
1 番	万 波 孝 子	<p>1. 経常収支比率について 令和 4 年度の経常収支比率は 96.0% (前年度 93.5%) となった。監査委員からも指摘されているが、財政構造は依然として硬直化している状況にあるとのことである。桜保育所整備事業などの地方債償還がさらに比率の上昇要因となってくるともいわれているが、大規模事業の賑わい交流拠点施設整備事業等が計画通りに進めば令和 5 年度以降の経常収支比率はどのくらいになると見込んでいるのか。経常収支比率上昇を解消するための方策について伺う。</p> <p>2. 暮らし支援策について 令和 4 年度は国から①住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金②子育て世帯生活支援特別給付金③電力・ガス・食料品等価格高騰緊急給付金があり、対象となった町民にとっては暮らし応援となり喜ばれた政策だったといえる。しかし、対象外となった町民も少なくない。こうした町民への町独自の支援は不十分だったと思うが、この点についてどう考えるか。</p> <p>3. 財政調整基金とふるさと寄附金の活用について 令和 4 年度末基金現在高は前年度比 159,826,500 円減の 2,642,233,000 円となった。これはふるさと寄附金 2,213,523,000 円 (内、業務にかかる費用総額 1,084,458,341 円) が多く寄せられているからであるが、町にとっては貴重な財源となっている。 (1) 基金残高の状況をどのように受け止めているか。 (2) コロナ禍や相次ぐ物価高騰等で町民の生活や営業は一層厳しい状況下にあったといえるが、町民の暮らし全体をどのように把握していたのか。 (3) 寄附件数 46,769 件の内用途の指定なしは 12,637 件で、寄附金額は 571,089,000 円となっている。これにより、生活や生業をしっかりと支援するためにふるさと寄附金の有効活用をもってすべきではなかったかと考えるが、次年度以降に活かさないか伺う。</p> <p>4. 不納欠損について 令和 4 年度末の一般会計と特別会計、水道事業・下水道事業の不納欠損額合計は前年度比 10,198,989 円増の 35,766,045 円 (前年度 25,567,056 円) となっている。 (1) 担当課の収納努力も限界を超えての結果として不納欠損額が生じていると思うが、この状況をどう受け止めているか。 (2) 不納欠損の対象となった町民も含め、各会計で払いたくても払えない、滞納せざるをえなかった町民で各種の減免制度を活用した町民は何人位いたのか。次年度以降各種減免制度の一覧表を作成し、周知徹底を図っていく考えはないか。</p> <p>5. 会計年度職員について 令和 4 年度 (令和 5 年 4 月 1 日時点) の会計年度任用職員 123 人の内フルタイム職員は 16 人となっている。内訳は町民生活課 2 人、福祉課 5 人、保育所等施設 9 人となっている。この中で</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万波孝子	<p>(1) 保育士資格を有するなど専門技能取得者は何人いるのか。内訳について。</p> <p>(2) 有資格者は正職員と全く同じ業務内容であると思うがどうか。担当課のみならず、町長、副町長、総務課長らは現場に足を運び、状況を確認したことはあったのかどうか。</p> <p>(3) 次年度以降「有資格者を正職員に」改善に向かって最大限努力をしていく姿勢が必要でないか。次年度以降の対応について伺う。</p> <p>6. 新型コロナウイルスワクチン接種に関して 本町ではワクチン接種方法については個別接種と集団接種で実施しているが、隣町（集団接種のみ）では地区ごとに日程を決めて実施している。都合の悪い人は事前に連絡するようになっているようですが、町民（高齢者）からコールセンターでの予約が大変なので地区毎の接種方法を取り入れてほしい声がある。令和4年度では検討したことはあったのかどうか。経緯と考え方について伺う。</p> <p>7. 白石川右岸河川敷整備について 賑わい交流拠点施設整備については、令和4年度では基本設計等業務委託、測量調査設計業務委託を実施している。既に令和3年度では、「賑わい交流拠点施設」整備に向けた基本計画を作成している。賑わい交流拠点施設は令和8年度オープン予定になっているが、</p> <p>(1) 賑わい交流拠点施設整備事業についての周知はまだまだ足りず、周知にもっと力を入れるべきではなかったかと考えるがどうか。</p> <p>(2) 今年の広報8月号で「白石川右岸河川敷等の整備状況をお知らせします」と大見出しで2面を使って全体計画が掲載された。しかし、全体図の中にある賑わい交流拠点施設（整備予定地）についてはこの図をみただけでは、理解されていない、理解しにくいようである。今町が取るべき姿勢は令和3年度に作成された基本計画時の計画平面図を基に、整備予定地（現地）で直接、町民に説明することが、今、一番求められているのではないかと考える。令和5年度ではすでにこの施設整備に関し、造成等実施設計業務委託（41,200,000円）や整備用地費（79,000,000円）が予算化されているからである。町政を舵取る町長は「説明責任」についてどのように重視しているのか。令和4年度ではこの点についてどのように総括したのか伺う。</p> <p>8. 国民健康保険特別会計について 令和4年度末の国保基金残高は過去最多の501,636,000円となっている。</p> <p>(1) 異常な保有高といえないか。この要因をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 基金残高は1世帯当たりで換算すると172,324円（2,911世帯）1人当たりでは114,215円（被保険者4,392人）になる。これをどう考えるか。一方、令和4年度末の不納欠損額は前年度比6,874,180円増の17,068,328円となり、高い国保税が払えない状況を示しているのではないか。基金を大いに活用し、税の引き下げに充てるべきではなかったかと考えるがこの点をどのように総括したのか。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万波孝子	<p>9. 介護保険特別会計について</p> <p>令和4年度末の介護給付費準備基金残高は前年度比 15,521,000 円増の 505,116,000 円となっている。</p> <p>(1) 異常な保有高といえないか。これだけの金額になった要因をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 基金の目的は。改めて伺う。基金創設後、これまで活用した実績は。</p> <p>(3) 基金は次年度以降も増加する傾向なのか見通しについて。</p> <p>(4) 基金の有効活用で第9期介護保険料の引き下げは十分可能と考えるがどうか。現時点での見通しについて伺う。</p>